

2026年度 公募制推薦入試前期日程 試験問題 (11月19日)

国 語

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 解答用紙には、解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。
- ① 受験番号欄
受験番号(英字及び数字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。
正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
- ② 氏名欄
氏名を記入しなさい。
- ③ 解答科目欄
解答する科目を1つ選び、科目の下の○にマークしなさい。マークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。
- 4 解答は、解答用紙の解答欄に1つマークしなさい。例えば、

5

と表示のある問いに対して①と解答する場合は、次の(例)のように解答番号5の解答欄の①にマークしなさい。

(例)

解答番号	解 答 欄									
5	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- 5 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

国 語

(解答番号

1

30)

問題文の中の「*」の記号は、原文にあったその直後の文が省略されていることを示しています。解答にあたって考慮する必要はありません。

次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。なお、出題の都合により、文中に一部、省略、改変したところがある。また、「」内は出題者による注記である。

古代ギリシアの科学の祖として、アリストテレス（紀元前三八四―前三二三）を挙げておきたい。現代ではむしろ哲学者、倫理学者として知られているが、彼の著作の半数以上は今でいう自然科学、とくに生物学に関するものだ。もちろん、ほかたちがいまイメージする科学とはずいぶん異なる思考方法や視点も見られるが、データを収集して確かめる実証主義的な方法論を採用していたことは、現在の自然科学にも通ずるものである。

古代インドの釈迦（ガウタマ・シッダータ、紀元前五世紀ごろ）の思想に関しても、創造主の存在を排し、事実と合理的推論によって世界の成り立ちを説明することに徹底した、世界初の合理主義的科学的世界観があるとする意見がある。仏教学者の佐々木閑は、その後の大乘仏教などによって釈迦の思想が変容させられ、初期仏教の(1)合理性が失われていったとしている。このような見方や評価が仏教学的にどの程度受け入れられるものなのか、ほかには評価できないが、世界の成り立ちと自らの来し方行く末を考えるのが宗教であるとするれば、その根源において科学との(2)共通点があるのは当然であり、科学的にも興味深いテーマであると思う。

これらは、知識を得ること自体を究極の目的とした活動であり、「知識のための科学」の(2)嚆矢ともいえる。だが、その知識が、「誰によって」「どのように」使われたのかを見ると、話はそう簡単ではない。

アリストテレスは、マケドニアのアレクサンドロス大王の王子時代に帝王学を(3)授ける家庭教師として、(4)仕えていた。アリストテレスの天文学や物理学、医学などは、軍事技術の基盤として重要な役割を果たしていたのである。もう少し新しい時代のアルキメデス（紀元前二八七―前二一二）も、投石機などの軍事技術やスクリーなどの民生技術を発明して、統治権力の安定に貢献している。

釈迦の仏教は、商業の発達や文字使用の開始によって起こった社会変化に対する新しい思想革命として広がった。新興の商人

や都市住民のことを既存のパラモン教は低く位置づけていたが、仏教はそれら新興層の活動や思想的に支持するとともに、彼らからの金銭的な恩恵を受け発展したのである。これは、社会の中核を担う者が誰かをめぐる権力闘争であり、軌道修正の合理的な思想は、新興都市住民のライフスタイルや価値観と合致していたのである。同じころ、中国の諸子百家（春秋戰國時代に出現した多くの思想・学説）も同様の社会変動に対応した現象であったといわれている。

権力の道具としての知識生産。これが、古来、科学技術の重要な一面なのである。

古代ギリシアの科学は、ローマ時代にはセイ・aナ生活技術として(3)体系化されたが、ローマ帝国が滅亡すると、ヨーロッパでの受け **A** を失ったギリシアの学術は西アジアのイスラム圏に伝わり、その地でさらなる大きな発展を遂げた。とくに、医学、天文学、幾何学などは、八世紀からのアッバース朝でギリシア語からの大翻訳プロジェクトが長期にわたって継続され、九世紀から一世紀前半にかけて、バグダードを中心に栄えた。

それがふたたびヨーロッパに逆輸入されて、古代ギリシアとローマへの **イ** 古的憧憬とともに近代自然科学の発展に点火されるのが、ルネサンス期である。新プラトニズム、錬金術、占星術といった、オカルトやエゾチリズム（隠れた人々の間伝授される、秘密の知識や思想体系）と **ウ** 体となった知識生産のアルガム（性質の異なるものが混ざり合ってきたもの）の中から、近代自然科学に通じる合理的な体系が析出されていく過程は、科学史の類書に任せよう。

ここでは、それらの知識生産が「誰のためにおこなわれていたか」に注目したい。ルネサンス期の学術活動を支えたのは、たとえイタリアのメディチ家やゴンツァガ家のような **バ** バトルンである。ローマ教皇のなにも、積極的に学術文化を支援し、シンコウしたエリウス二世やレオ一〇世のようなバトルン教皇がいた。

彼らが支援、シンコウしたのは当然、軍事や民生に役立つ技術も含まれる。戦闘技術の発展、地理情報の精密化、採鉱と冶金の金属技術、これらすべて、当時の科学の **ヴ** 精を集めた最先端技術であり、バトルンたちの統治をより強固なものにするために使われていた。

ガリレオ・ガリレイがメダイチ家などのバトルンに雇用してもらうための「売り文句」は、自分がいかんか数学の能力に優れ、

土木工事や軍事技術に貢献できるかをアピールすることだった。安くて丈夫な橋、より命中率の高い大砲、これらをつくれませ、というわけである。

バトルンへの売り込みが実用面を強調していたので有名なのは、ルネサンス期の万能の天才、レオナルド・ダ・ヴィンチ（一四五―一五一九）である。彼が一四八二年にミラノ公国の君主に宛てた自己アピールの手紙には、築城、大砲などの重火器、戦艦、戦車、橋梁などの製作技術に長けていることが綴られている。そして、これらの技術のいくつかは、戦争時だけでなく平時にも役立つと付け加えられている。いずれにせよ、統治のために貢献できることを訴えている。

統治のための科学技術——この点については、オリストテレスの時代も、ガリレイの時代も、大きな違いはない。

また、時代は八世紀末になるが、フランスのエリート養成学校、グラン・ゼコールのひとつであるエコール・ポリテクニーク（理工科学校）は、フランス革命時に周辺諸国からの侵略を防ぐために、軍事技術の開発や技術従事者の養成を目的として設置されたものである。科学者が国家に雇われて国家から給料をもらうようになったのは、このエコール・ポリテクニークをもって嚆矢とする。

キ、いや、ガリレイは大学にも勤めているので、統治権力との関係がアリストテレスと同じというのは大ざっぱにすぎるとおとしめる向きもあるかもしれないが、この時代の大学は、研究機能よりも教育機能のほうが比重が高かった。だからガリレイも大学教員を辞めて、教育義務にしばられずに研究に専念できる環境を求めてメダイチ家に支援を **ズ** 請うたのだし、時代は下つて一七世紀後半のニュートンも、力学の体系を完成させる研究業績を成し遂げたのは、ベストの流行で大学が休校になっていた期間のことだった。

大学が科学技術を研究する場としても大きく機能するようになったのは、おおよそ一九世紀末のことと考えておいていいだろう。

一六世紀から一七世紀にかけてというこの時代に、コペルニクス、ティコブラーエ、ガリレイ、ヨハネス・ケプラーなどが出て大発展した天文学は、現在では最も実用から遠い学問のように思われているかもしれない。松浦均らの調査によると、科学

— 4 —

6 (11.19)

— 3 —

5 (11.19)

のいろいろな分野の一般イメージの調査で、**ク** 天文学と詩が近いという結果になっている。

だが、**ケ** 暦の策定は、もともとは季節の変化と天候のうつろいを予測し、農作物や河川の動きを予測するためのもので、権力者が民衆を管理するための必須のアイテムだった。

古代エジプトでは、洪水によって土地を **ク** 豊かにしてくれる一方で、大きな被害をもたらすナイル川の水位・水量の変化を精密に測定し、異音を事前に的確に察知することは、為政者の重要な仕事だった。季節の変化を実感に即しわたり示してくる暦と、水位を実際に測定する器械（ナイロメーター）を正確につくれるかどうかは、統治者にとって不可欠の技能だった。正確で便利な暦の策定が統治権力の正当化に不可欠だったのは、古代中国でも同じである。戦国時代に定められた新しい暦は、それまで使われていたものより天体の動きをはるかに正確に予言し、季節の変化との整合性が高かった。この暦によって、「王は太陽と月の観測を通しての時間と季節の秩序を未来永劫把握する存在となったのである」(尾形勇・平勢隆郎「中華文明の誕生」)。

これはまた、天体の動きをより正確に把握するために、それまでは下から見上げていた天球を上から見る視点の獲得にもつながり、「天下一」という概念を生まることもあった。人々が暮らすこの世界のすべてを「天なる視点から見下ろす」ことのできる者、それこそが天下を統べる帝にふさわしい者であり、**B** はその正当化のために必須の技術だったのである。

暦は、「時間」をより刻むかにいての科学技術である。同じように、「空間」をより刻むが、つまり **サ** 度量衡をどう管理するかも、統治者にとっての重要な課題だった。

度量衡は、技術の単位としても科学の道具としても、基本中の基本である。度量衡が統一されていなかったら、科学の発展も技術の普遍化もありえない。今さら繰り返すまでもないことはあるが、えてしてはくたははそのことを忘れてしまっている。度量衡の統一が統治者の権力のおよぶ範囲内で実現可能になり、したがって統治者の権力を強化するのに貢献したことも、あらためて確認しておこう。一七九一年にフランスで、一メートルが北極から赤道までの子午線の一〇〇〇万分の一と定義された後、さまざまな反対に抵抗してそれを熱心に普及したのはナポレオン・ボナパルトである。

かつては、どの国であれ地域であれ、地方ごとにでんでんばらばらに異なっていた度量衡の単位も、今では世界中ほとんどでメートル法が使われており、どこに旅行しても違和感なく生活することができ、海外旅行でそのありがたみを意識することはないが、あらためて考えてみると、本当に便利な世の中に生まれて良かったと思ひじみ思う。いまだにヤード・ポンド法を使っているアメリカに行くと、そのことを痛感する。あれは本当にいかげんにしてはいし。

話はそれるが、度量衡の統一が科学技術の進歩発展だけでなく、音楽にも大いに関係している。一七世紀初頭から一八世紀半ばまで、**C** バロック音楽の時代からモーツァルトのころまでは、音の高さ（ピッチ）は音楽のジャンルによっても、**シ** 地域によってもまちまちだった。

オルガンの同じ一点イ（フ）の音（二点イ）は日本語表記によるもの。表も照でも、イギリスのケンブリッジの三九五・二ヘルツからドイツのハルバシュタット大聖堂の五〇五・八ヘルツまで、一〇ヘルツ以上の開きがあったといわれている。これは、半音四個分（五個分の違いに相当する。つまり、同じ一点イとばれている音なのに、一点ト（フ）と二点ハ（ド）ぐらいの幅があったことになる。これよりもっと低い音が存在したという推定もあるぐらいだ。こうなると、同じ音」とはいったい何なのかという根本的な疑問を抱かざるをえない。どうしてこんな違いがあったのか。

W だから、数字上は同じ長さで測ってパイプをつくっても、実際に発せられる音の高さは異なっている。

X 当時のヨーロッパ、とくにドイツでは小国に分権しており、町ごとに長さの単位が統一されていなかったために、オルガンのパイプの実際の長さがバラバラだったのだ。

Y これが世界共通になるためには、統一国家が出現し、国際協定が結ばれ、度量衡が世界的に統一

— 6 —

8 (11.19)

— 5 —

7 (11.19)

公募制推薦入試 前期日程

[国語]
11月19日

一される必要があった。

【Z】ドイツに限らず、大革命前のフランスでは、パリ市内だけで三種の長さや重さの単位が流通していたらしい。

音楽の音の高さも、統治権力との関係で変遷し、決定されてきたのである。D、現在の一点イ(ラ)＝四四〇ヘルツという国際標準が確定したのは二〇世紀になってから、一九九九年のことである。ずいぶん最近のことのように思える。

話を科学技術に戻そう。

科学技術の成果の第一の使用者は、統治権力者だった。科学技術を掌握した者が統治権力の座につくことができた、といったほうがいいかもしれない。これはE、統治者の権力を安んずるだけでなく、統治者を通じて社会や民衆の生活を豊かにし、安定させるためにも貢献してきた。科学技術にはつねに、抑圧と解放の両面がつきまとう。

古代ギリシアにおける科学の祖であるアリストテレスは、先に述べたように「知識のための科学」の祖でもある。統治権力のための科学と、知識のための科学とは、互いに矛盾するものではない。ガリレイの業績だって、メデイチ家のケン・セイを強化するために作用したが、太陽系の状況についての知識そのものをすいぶんたくさん増やしてくれた。

(佐倉統「科学とはなにか 新しい科学論 いま必要な二つの視点」による)

問一 二重傍線部a～cのカタカナを漢字になおすところとなるか。適当なものを次の中からそれぞれ一つ選べ。

- | | | | | | | |
|---|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| a | セイ | ① 値 | ② 致 | ③ 知 | ④ 緻 | ⑤ 置 |
| b | シン | ① 振 | ② 信 | ③ 進 | ④ 慎 | ⑤ 審 |
| c | ケン | ① 政 | ② 勢 | ③ 制 | ④ 盛 | ⑤ 征 |
- 321

問二 二重傍線部w「授ける」、x「仕え」、y「幹」、z「謂」の読みの最初の文字は何か。もつとも適当なものを次の中からそれぞれ一つ選べ。

- | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① う | ② き | ③ こ | ④ さ | ⑤ し | ⑥ す | w ④ | x ⑤ | y ⑥ | z ⑦ |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
- 10(11.19)

問三 波線部(1)～(4)の意味してもつとも適当なものを、次の中からそれぞれ一つ選べ。

- | | | | |
|----------|----------------------------|--------------------------------------|----|
| (1) 合理性 | ① 実験を用いた検証を重んじる性質 | ② 論理の法則や道理にかなっている性質 | ⑧ |
| (2) 嚆矢 | ① 少ない負担で最大の成果を出そうとする性質 | ④ 自分の信用に合致している性質 | |
| (3) 体系化 | ① 経験から導き出された理論に基づいている性質 | ② 典型として認められるもの | 9 |
| (4) バトロン | ① 考える最も完全なもの | ④ 物事の初め | |
| | ② 多くの成果が積み重ねられてできた完成品 | ⑤ 多くの事例を、一定の考え方で整理してまとめあげること | 10 |
| | ③ 一般の人々の間に広く受け入れられるようにすること | ⑥ 一つの操作で、あらかじめ用意された手順に従って作動するようにすること | |
| | ④ 意見の対立を調整して、一本化すること | ⑦ 勢いを加え、完成形に向けて一気に発展させていくこと | |
| | ⑧ 法的に定められた擁護者 | ⑨ 経済上や精神面での後援者 | 11 |
| | ⑨ 主張や思想などに賛同する人 | ⑩ 研究に対するご意見番 | |
| | ⑩ 安全を守る保護者 | | |
- 8 —

問四 傍線部A「共通点」とは何か。もつとも適当なものを次の中から一つ選べ。

- ① 哲学や倫理学のみならず、自然科学、特に生物学に通じていること
- ② 軍事技術の基盤として重要な役割を果たしていること
- ③ 後継者たちの解釈によって思想が変容させられていること
- ④ 事実と合理的推論によって世界の成り立ちを説明しようとする
- ⑤ 古代の思想や方法論が現在にもお伝えられていること

問五 空欄Aに入るもつとも適当なものを、次の中から一つ選べ。

- | | | | | |
|------|-----|-----|------|-----|
| ① 持ち | ② 腰 | ③ 身 | ④ 止め | ⑤ 皿 |
|------|-----|-----|------|-----|
- 13

問六 傍線部「カイ」を漢字になおしたとき、その漢字の部首として適当なものを、次の中から一つ選べ。

- | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① く | ② つ | ③ り | ④ き | ⑤ つ |
|-----|-----|-----|-----|-----|
- 14

問七 傍線部「二体となった」とあるが、オカルトやエゾテリスムと何が一体になったというのか。もつとも適当なものを次の中から一つ選べ。

- | | |
|------------------------------|------|
| ① アッパース朝での大翻訳プロジェクト | ⑤ 15 |
| ② アマルガム | |
| ③ 近代自然科学 | |
| ④ 古代ギリシアとローマへのカイ古の憧憬 | |
| ⑤ 西アジアのイスラム圏を経由した古代ギリシア由来の科学 | |

問八 傍線部「平時」の対義語としてもつとも適当なものを、次の中から一つ選べ。

- | | | | | |
|------|------|------|------|------|
| ① 国事 | ② 凶事 | ③ 珍事 | ④ 有事 | ⑤ 故事 |
|------|------|------|------|------|
- 16

問九 傍線部O「アリストテレスの時代」から傍線部力「ガリレイの時代」にかけての出来事に当てはまらないものを、次の中から一つ選べ。

- | | |
|--|------|
| ① イタリアでメデイチ家がパトロンの活動を支えたこと | ⑤ 17 |
| ② 古代ギリシアの科学がセイチな生活技術として体系化されたこと | |
| ③ 「科学者」が国家から雇われ給料をもらうようになったこと | |
| ④ アルキメデスが投石機やスクリーなどの技術を開発したこと | |
| ⑤ パクダードを中心に栄えた医学、天文学、幾何学が、ヨーロッパに伝わったこと | |
- 12(11.19)

公募制推薦入試
前期日程 11月19日

国語

問十 傍線部キ「いや、ガリレイは大学にも動めていたので、統治権力との関係がアリストテレスと同じというのは大ざっぱにすぎるとおっしゃる向きもあるかもしれない」とはどういう意味か。もともと適当なものを次の中から一つ選べ。

- ① 「ガリレイは教育機能の比重が高い大学にも動めているので、知識のための科学研究に専念したアリストテレスと違わない」というのは大ざっぱすぎる」という見方もあるかもしれない
② 「教育機能の比重が高い大学にも動めているので、大学で教えたことがないアリストテレスと同じというのは大ざっぱすぎる」という見方を、ガリレイはするかもしれない
③ 「大学という科学技術を研究する所にも動めているので、統治権力の道具としての知識を生産したアリストテレスと同じというのは大ざっぱすぎる」と、ガリレイはむしろなるかもしれない
④ 「ガリレイは教育機能の比重が高い大学にも動めているので、大学で教えたことがないアリストテレスと同じというのは大ざっぱすぎる」という方向で考えることもできるかもしれない
⑤ 「ガリレイは大学という科学技術を研究する所にも動めているので、統治権力の安定を助けたアリストテレスと違わない」というのは大ざっぱすぎる」という人もいるかもしれない

18

13(11.19)

問十一 傍線部ク「天文学と詩が近いという結果になっている」というとき、「詩」はどのようなものの例とされているか。もともと適当なものを次の中から一つ選べ。

- ① 難解な字問分野
② 実用から遠いもの
③ 松浦均の調査対象
④ 一六世紀から一七世紀にかけて大発展したもの
⑤ 科学について的一般イメージ

19

— 11 —

問十二 傍線部ケ「暦の策定」によって権力者がなそうとしたことに当てはまらないものを、次の中から一つ選べ。

- ① 天体の動きと季節の変化とを整合させること
② 民衆を管理すること
③ 河川の動きを予言すること
④ 時間と季節の秩序を把握すること
⑤ 自身の統治の正当性を示すこと

20

14(11.19)

問十三 傍線部コ「豊かにしてくれる」の動作主体としても適当なものを、次の中から一つ選べ。

- ① 農作物
② 為政者
③ 土地
④ 季節
⑤ ナイル川

21

22

問十四 空欄 B に入ることはとてももともとも適当なものを、次の中から一つ選べ。

- ① 天文学
② 視点獲得
③ 概念生成
④ 為政
⑤ 天下統一

23

— 12 —

問十五 傍線部サ「度量衡」に関して述べた文として本文の内容に合致しないものを、次の中から一つ選べ。

- ① 度量衡の統一は、音楽にも大いに関係した
② 度量衡の単位はかつては地方ごとに異なっていた
③ 度量衡の統一によって、科学の発展や技術の普遍化が可能になった
④ 今では世界のどこに旅行してもメートル法が使われている
⑤ フランスにおいて一メートルの長さが定義された

問十六 空欄 C に入る語句としてももともとも適当なものを、次の中からそれぞれ一つ選べ。ただし、同じものを二度用いることはできない。

- ① すると
② つまり
③ もし
④ ちなみに
⑤ もちろん

C 24 D 25 E 26

15(11.19)

問十七 傍線部シ「地域によってもまちまちだった」に関する記述として本文の内容に合致しないものを、次の中から一つ選べ。

- ① 一九三五年、音の高さの地域差の解消につながる、一点イ＝四四〇ヘルツという国際標準が確定した
② ドイツのハルバーシュタット大聖堂で一点イとよばれる音は、五〇〇ヘルツを超える高さの音であったといわれている
③ イギリスのケンブリッジで一点イとよばれる音の高さは、ドイツのハルバーシュタット大聖堂で一点イとよばれる音と、一〇ヘルツ以上違っていたといわれている
④ 同じ一点イの音でも、地域によって一点トから二点ハまで、よび方に違いがあったことになる
⑤ 一点イとよばれる音は、地域によっては三九五・二ヘルツよりも低かったという推定もある

— 13 —

問十八 W X Y Z を正しく並びかえたときの順序としてももともとも適当なものを、次の中から一つ選べ。

- W ① ② ③ ④
X ⑤ ⑥ ⑦ ⑧
Y ⑨ ⑩ ⑪ ⑫
Z ⑬ ⑭ ⑮ ⑯

28

16(11.19)

- ① X ↓ Z ↓ W ↓ Y
② Y ↓ X ↓ W ↓ Z
③ Z ↓ X ↓ Y ↓ W
④ X ↓ Z ↓ Y ↓ W
⑤ Y ↓ X ↓ W ↓ Z
⑥ Z ↓ X ↓ Y ↓ W
⑦ X ↓ Z ↓ W ↓ Y
⑧ Y ↓ X ↓ W ↓ Z
⑨ Z ↓ X ↓ Y ↓ W
⑩ X ↓ Z ↓ Y ↓ W
⑪ Y ↓ X ↓ W ↓ Z
⑫ Z ↓ X ↓ Y ↓ W
⑬ X ↓ Z ↓ W ↓ Y
⑭ Y ↓ X ↓ W ↓ Z
⑮ Z ↓ X ↓ Y ↓ W
⑯ X ↓ Z ↓ W ↓ Y
⑰ Y ↓ X ↓ W ↓ Z
⑱ Z ↓ X ↓ Y ↓ W
⑲ X ↓ Z ↓ W ↓ Y
⑳ Y ↓ X ↓ W ↓ Z
㉑ Z ↓ X ↓ Y ↓ W
㉒ X ↓ Z ↓ W ↓ Y
㉓ Y ↓ X ↓ W ↓ Z
㉔ Z ↓ X ↓ Y ↓ W
㉕ X ↓ Z ↓ W ↓ Y
㉖ Y ↓ X ↓ W ↓ Z
㉗ Z ↓ X ↓ Y ↓ W
㉘ X ↓ Z ↓ W ↓ Y
㉙ Y ↓ X ↓ W ↓ Z
㉚ Z ↓ X ↓ Y ↓ W
㉛ X ↓ Z ↓ W ↓ Y
㉜ Y ↓ X ↓ W ↓ Z
㉝ Z ↓ X ↓ Y ↓ W
㉞ X ↓ Z ↓ W ↓ Y
㉟ Y ↓ X ↓ W ↓ Z
㊱ Z ↓ X ↓ Y ↓ W
㊲ X ↓ Z ↓ W ↓ Y
㊳ Y ↓ X ↓ W ↓ Z
㊴ Z ↓ X ↓ Y ↓ W
㊵ X ↓ Z ↓ W ↓ Y
㊶ Y ↓ X ↓ W ↓ Z
㊷ Z ↓ X ↓ Y ↓ W
㊸ X ↓ Z ↓ W ↓ Y
㊹ Y ↓ X ↓ W ↓ Z
㊺ Z ↓ X ↓ Y ↓ W
㊻ X ↓ Z ↓ W ↓ Y
㊼ Y ↓ X ↓ W ↓ Z
㊽ Z ↓ X ↓ Y ↓ W
㊾ X ↓ Z ↓ W ↓ Y
㊿ Y ↓ X ↓ W ↓ Z

— 14 —

- 問十九 本文の内容に合致しないものを、次の中から一つ選べ。なお、解答の順は問わない。
- ① 科学技術には社会や民衆の生活を豊かにし安定させたという面もある
 - ② 古代中国でも社会変動に対応して新しい思想が広がった
 - ③ ルネサンス期のパトロンは、学術活動を支えることによって統治をより強固にしようとした
 - ④ レオナルド・ダ・ヴィンチは実用面を強調してパトロンの自分を売り込んだ
 - ⑤ ルネサンス期には、知識を得ること自体を究極の目的とした活動は行われなかった
 - ⑥ 度量衡の統一は統治者の権力の及ぶ範囲で実現可能であった
 - ⑦ モーツァルトの活躍した時代に、音の高さの現在の国際標準が確定した
 - ⑧ 古代インドの釈迦の思想は「知識のための科学」ともいえる

29
30

入試	日程	科目	大問	執筆者名	書名	発行所	クレジット
公募	11/19	国語		佐倉 統	科学とはなにか 新しい科学論、いま必要な三つの視点	講談社	
公募	11/20	国語		小堀 謙一郎	死を生ける 訪問診療医がみた709人の生老病死	朝日新聞出版	
公募	12/13	国語	甲乙	立川 昭二	病気の社会史	岩波書店	
一般	前期 1/26	国語	甲乙丙	廣野 由美子	シンデレラはどこへ行ったのか 少女小説と『ジェイン・エア』	岩波書店	
一般	前期 1/26	日本史	I-D	一瀬上人	『新撰日本史』所収 一遍上人 聖絵「福圓の市」	浜島書店	清浄光寺(遊行寺)蔵
一般	前期 1/26	日本史	I-F ①	葛飾 北斎	『浮城二十七年書』山下白画	山川出版社	山口県立美術館・浦上記念館 所蔵
一般	前期 1/26	日本史	I-F ②	歌川 広重	『詳説日本史』所収 「名所江戸百景 亀戸屋敷」	山川出版社	出典: ColBase (https://colbase.nich.go.jp/)
一般	前期 1/26	日本史	I-F ③	歌川 国芳	『詳説日本史』所収 「船中若小入 巻五」	山川出版社	たばこと塩の博物館所蔵
一般	前期 1/26	日本史	I-F ④	菱川 師宣	『詳説日本史』所収 「見渡り美人図」	山川出版社	出典: ColBase (https://colbase.nich.go.jp/)
一般	前期 1/26	世界史	I	古田 元夫	世界史リブレット42 アジアのナショナリズム	山川出版社	
一般	前期 1/26	政治 経済	Ⅲ	青木 真兵	『西洋史の扉をひらく』(上)田耕造・入江幸二・比佐篤 編 著	晃洋書房	
一般	前期 1/27	国語	甲乙	今井 むつみ	学力喪失 認知科学による回復への道筋	岩波書店	
一般	前期 1/27	日本史	問二十六		図A		
一般	前期 1/27	日本史	I-L	渡辺 崋山	『詳説日本史』所収 「産皇石像」	山川出版社	出典: ColBase (https://colbase.nich.go.jp/)
一般	前期 1/27	世界史	I	木谷 勤	世界史リブレット40 帝国主義と世界の一体化	山川出版社	
一般	前期 1/27	政治 経済	I-問5		朝日新聞 2025年5月3日 (天声人語)「個人」の重さ	朝日新聞社	朝日新聞 2025年5月3日 天声人語「個人」の重さ 朝日新聞社に無断で転載することを禁じる。 承諾番号:28-0898
一般	前期 1/27	政治 経済	Ⅲ		日本経済新聞 2025年1月6日 社説 多様な生き方へ社会の幅を広げよ	日本経済新聞社	日本経済新聞 2025年1月6日 社説 多様な生き方へ社会の幅を広げよ 利用許諾番号:No.002374
一般	前期 1/28	国語	甲乙丙	松永 伸司	雑誌「広告」Vol.417所収 「まじめな遊び、ふざけた遊び」	博報堂	
一般	前期 2/5	国語	甲乙	イェンヌ・ダムベリノ著 久山葉子ノ訳	脂肪と人類 渴望と嫌悪の歴史	新潮社	Fett : En historia om smak, skräk och starka begär by Jenny Damberg. © Jenny Damberg 2019. Reproduced with permission of Ordfront förlag.
一般	前期 2/5	日本史	I-C		『詳説日本史図録』所収 本朝(皇朝)十二銭	山川出版社	日本銀行金融研究所貨幣博物館
一般	前期 2/5	日本史	I-C		『詳説日本史』所収 寛永銭	山川出版社	出典: ColBase (https://colbase.nich.go.jp/)
一般	前期 2/5	日本史	I-F		『詳説日本史』所収 「南蛮屏風」	山川出版社	「南蛮屏風」神戸市立博物館所蔵 o神戸市立博物館イメージアーカイブ/DNPart.com 許可なく複製することを禁止する。
一般	前期 2/5	世界史	I	山本 文彦	神聖ローマ帝国 「強国なる大國」の牽役	中央公論新社	
一般	前期 2/5	世界史	Ⅱ	三浦 徹	アジア人物史 第7巻近世の帝国の繁栄とヨーロッパ 巻頭言	集英社	
一般	前期 2/5	政治 経済	I		日本経済新聞 2025年1月1日 社説 変革に挑み次世代に希望をつなごう	日本経済新聞社	日本経済新聞 2025年1月1日 社説 変革に挑み次世代に希望をつなごう 利用許諾番号:No.002374
一般	前期 2/5	政治 経済	Ⅲ	平野 克己	経済大陸アフリカ 資源・食糧問題から開発政策まで	中央公論新社	
一般	前期 2/6	国語	甲乙	溝井 裕一	動物園の文化史 ひとと動物の5000年	勉誠社	
一般	後期 3/3	国語	甲乙	山根 壽一	共感革命 社交する人類の進化と未来	河出書房新社	
公募	11/19	英語	I	Élia Borrás	The Guardian Thu 6 Feb 2025 "We water, rest, water": the green belt of vegetable plots cooling a city	Guardian News & Media	Copyright Guardian News & Media Ltd 2026
公募	11/20	英語	I	Albert Stumm	VOA Learning English November 26, 2024 Group Helos People Exercise Outdoors	VOA News →Associated Press	
公募	12/13	英語	I	JoNel Aleccia	VOA Learning English December 23, 2024 New US Food Guidelines: Eat Less Meat, More Beans	VOA News →Associated Press	
一般	前期 1/26	英語	II	CHIKA YAMAMOTO	The Asahi Shimbun December 11, 2024 Japan again ranks at or near top of survey on adult skills	朝日新聞社	The Asahi Shimbun December 11, 2024 Japan again ranks at or near top of survey on adult skills 朝日新聞社に無断で転載することを禁じる。 承諾番号:28-0898
一般	前期 1/27	英語	II	Ayuko Kato	The Japan Times Oct 19, 2024 Supporting women's participation in economics and	The Japan Times	The Japan Times, Oct 19, 2024
一般	前期 1/28	英語	I	GAVIN BLAIR	The new Japan Times: reborn at 120	Foreign Correspondents' Club of Japan	The new Japan Times: reborn at 120 by Gavin Blair. Reproduced with permission of the author.
一般	前期 1/28	英語	II	Alexa St. John Jennifer McDermott	VOA Learning English October 22, 2024 Big Tech Companies Aim to Develop Small Nuclear Reactors	VOA News →Associated Press	
一般	前期 2/5	英語	I	IEEE Computer Society	University World News 15 November 2024 How research can support cyber and data security and privacy	University World News	How research can support cyber and data security and data security and privacy by IEEE Computer Society from University world news, Nov 15, 2024.
一般	前期 2/6	英語	I	Angela Symons	Euronews 20/03/2024 Only seven countries in the world breathe safe air. Three of them are in Europe	Euronews	Only seven countries in the world breathe safe air. Three of them are in Europe by Angela Symons from Euronews, Mar 20, 2024. Reproduced with permission of Euronews.
一般	前期 2/6	英語	II	Vincent Moleveld	Online Gallery 30 September - 2024 The Nintendo Uji Ogura Plant: From Factory to Museum of Nostalgia	Online Gallery	The Nintendo Uji Ogura Plant: From Factory to Museum of Nostalgia by Vincent Moleveld, Online Gallery, Sep 30, 2024. Reproduced with permission of the author.
一般	後期 3/3	英語	I	El Hunt	The Guardian Thu 6 Feb 2025 The long black: will this soon be the UK's favourite coffee order?	Guardian News & Media	Copyright Guardian News & Media Ltd 2026
一般	後期 3/3	英語	II	Didi Tang	The Asahi Shimbun March 12, 2025 China's shipbuilding dominance poses economic and national security risks for the U.S., a report says	朝日新聞社 →Associated Press	
一般	最終日程 英・国総合型	英語	I	Ayaka Kaji Kensuke Fukushima	The Japan News December 4, 2025 World's Top Fashion Brands Make Strides in Sustainability; Paris Fashion Week Provides Competition for Eco-Fashion	読売新聞社	2025年12月4日 The Japan Newsより改変